

I 理論編

チーム学校による生徒指導の全体イメージ

学校教育の
目的

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成〔教育基本法第1条〕

学校教育の
目標

第1号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養う〔教育基本法第2条第2号〕

第3号 第4号 第5号

生徒指導の
定義

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動

生徒指導の
目的

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えること

児童生徒に
獲得させる
力

自己指導能力

児童生徒が、深い自己理解に基づき、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力

生徒指導の
実践上の
視点

生徒指導の
重層的
支援構造

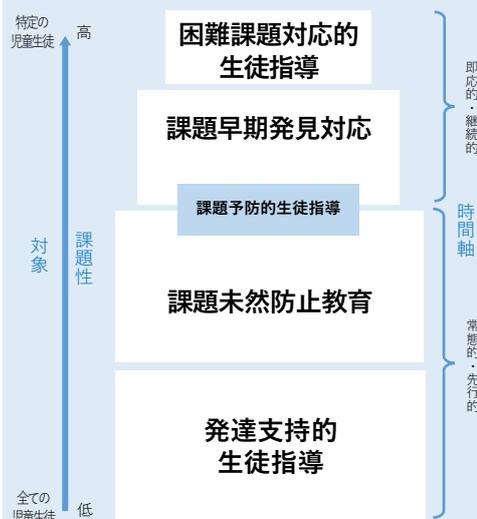
実践上の視点

主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働して創意工夫することの重要性等を実感させ、自己指導能力の獲得を支える生徒指導

- **自己存在感の感受**
 - ・自己存在感の実感
 - ・自己肯定感や自己有用感の獲得
- **共感的な人間関係の育成**
 - ・自他の個性の尊重
 - ・相手の立場に立って考え、行動できる態度の育成
- **自己決定の場の提供**
 - ・自ら考え、選択し、決定（発表等）
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- **安全・安心な風土の醸成**
 - ・個性や多様性の認め合い
 - ・安心して学校生活を送れる風土の醸成

重層的支援構造

時間軸、課題性（高い・低い）、生徒指導の対象となる児童生徒の範囲から成る4層の重層的支援構造



集団指導と
個別指導

ガイダンスと
カウンセリング

チーム支援による
組織的対応

生徒指導の
方法

児童生徒理解〔生徒指導の基本〕

- ・複雑な心理・人間関係の理解
- ・観察力と専門的・客観的・共感的理解
- ・児童生徒、保護者と教職員による相互理解

児童生徒を
総合的に理解

生徒指導の
基盤

〔教職員集団の同僚性〕
受容的・支持的・相互扶助的な人間関係 等

〔生徒指導マネジメント〕
PDCAサイクルによる取組

〔家庭や地域の参画〕
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の活用